

受付	令和 7年 8月 12日
	午前・午後 9時 20分

一 般 質 問 通 告 書

令和 7年 8月 12日

高山村議会議長 西原 澄夫 様

高山村議会議員 湯本辰雄

質 問 事 項	質 問 の 趣 旨
1. 村公共交通について	10月から村公共交通網が改編される。現在、長電バスやふれあい号奥山田牧線を利用されていた方々は、改めて交通機関の見直しがせまられます。二ツ石地域でも長電バスがなくなるので心配されています。周知を求めます。次に、こどもの運賃は戦前からの古い規定を準用し、6歳児までは無料、12歳以上は大人料金と設定されているが、時代にそぐわなくなっていると考えますので、質問します。
	質 問 要 旨 と 質 問
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 10月以降、フルデマンド「ふれあい号」を利用する予定の方々に、3回程度料金割引で利用できる「お試し利用券」を発行して、利用促進を図ってほしい。 2. 役場庁舎外に待合室設置を求めます。 3. 戦前からの鉄道運輸規定が時代に合わなくなっているため、国に規則の見直しを求めつつ、本村の12歳から18歳までのバス利用者に子供料金となるよう、助成事業の創設を求めます。
質 問 事 項	質 問 の 趣 旨
2. たかやま保育園について	<p>保育園の役割は、幼稚園と違い幼児教育よりも、働きに行く父母を支援のため設置されたものではないでしょうか。政府の国際調査で、日本は国民の過半数が「自分の国は子どもを産み、育てやすい国だと思わない」と答えています。理由は、教育費が高すぎる、雇用が不安定、子どもを産み育てることに対する社会の理解がないことだそうです。</p> <p>そうすると、働く父母の負担軽減のために、現在たかやま保育園などで行われている「昼食の主食を持参」という方法は、今後改善されなくてはならない課題ではないでしょうか。また、保育園児が家庭状況から離れ、同一の食事をし、同一の生活をする意義もあるものと考えます。</p>
	質 問 要 旨 と 質 問
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 父母負担軽減のため、3歳以上児の主食持参は中止し、園内調理で副食と共に給食とするよう求める。

※ 質問の趣旨・要旨は、わかりやすく記載するようご配慮ください。